

くれしんレポート

平成22年度上期の業況について

2010.4.1 ▶ 9.30



平成22年度上期 事業の概要

平成22年度上期は、昨年4月から続いた景気の回復力が弱まり想定以上の円高が企業を圧迫したことから、景気の先行きに不透明感が広がる経済環境となりました。

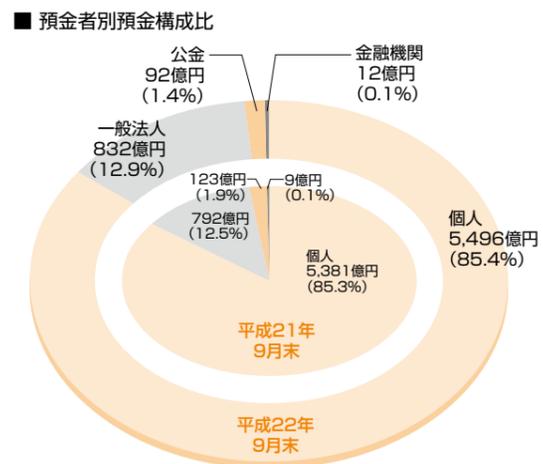
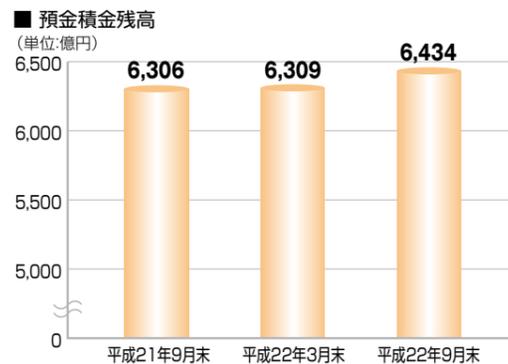
こうした状況下、当金庫に期待される役割は、地域に「仕事をふやす・仕事をつくる」ことへのサポートにあると捉え、法人・個人事業者のお客様に対しては、売上増加、収益確保を実現するための課題把握、解決策の提案を行い、専門家やコンサルタント紹介等のサポートに注力してまいりました。個人のお客様に対しても、資産形成ニーズや課題を把握しお客様のライフプランを考えながら金融面でのサポートに積極的に取組んでまいりました。

この間、当金庫の業績は、預金積金・預り資産の合計額は期中163億円の増加、貸出金は期中86億円の減少となりました。収益面では、コア業務純益は資金収益の減少などから前年同期比31百万円の減益となりましたが、経常利益は預り資産手数料や債券売却益などから60百万円の増益となりました。

■ 預金積金、預り資産

■ 預金積金残高は期中125億円増加

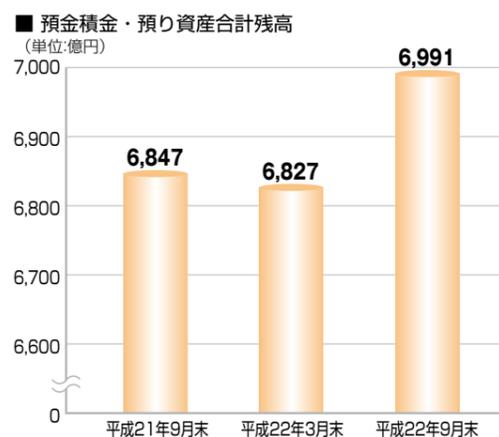
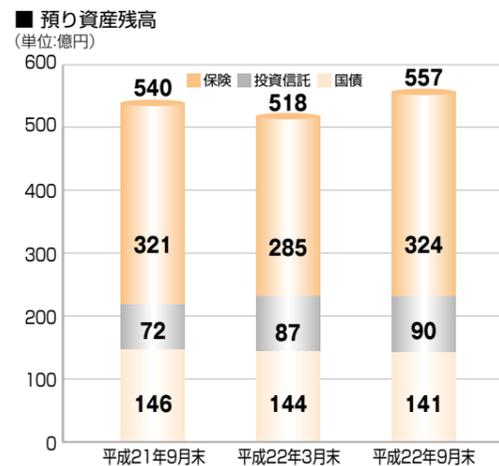
定期預金については、低金利が続く中、春と夏に特別金利定期預金を、5月に「振れ振れサンフレ定期預金」を販売することで、お客様への金利メリットを確保し、地域に密着した積極的な営業活動に努めてまいりました。また、定期積金については、金利以外の付加価値のある商品「傷害保険付定期積金（きずな積金）」を販売しました。その結果、期中125億円増加（個人預金63億円増加、法人等預金61億円増加）し、9月末残高は6,434億円となりました。



■ 預り資産残高は期中38億円増加

お客様のライフステージに合わせた金融資産形成・運用をお手伝いするため、投資信託や保険商品の品揃えを充実すると共に、営業店での資産運用セミナーの開催など、積極的な営業活動を行った結果、期中38億円増加し、9月末残高は557億円となりました。

なお、お客様の立場に立ったファイナンシャル・アドバイザー機能の一層の強化に努めるため、金融商品推進担当者を営業店に18名、本部に4名配置しています。



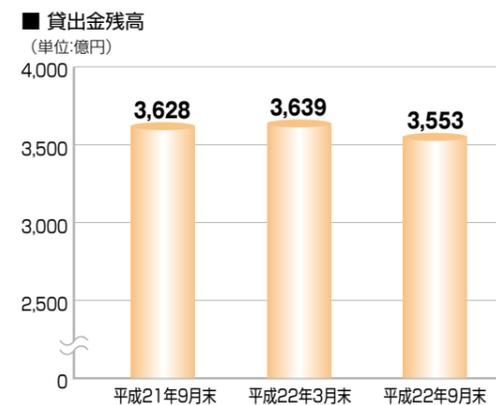
■ 貸出金

■ 貸出金残高は期中86億円減少

法人・個人事業者のお客様には、中小企業を取り巻く経営環境の厳しい状況が続く中、現在の経営状況だけでなく経営者の手腕、技術力などの将来性に着目して担保・保証に過度に依存することなく資金繰り円滑化のための資金供給に取り組んでいます。平成20年10月に取扱いを開始した資金繰り支援融資は1,730件、金額189億円となりました。

個人のお客様には、住宅資金や消費資金等のライフサイクルに沿った金融面からの支援に取り組んでまいりましたが、景気の先行き不安による資金需要の鈍化により、貸出金は期中86億円減少し、9月末残高は3,553億円となりました。

また、金融円滑化法に基づく条件変更等については、中小企業向け貸付は1,394件、334億円、住宅資金貸付は111件、14億円対応いたしました。

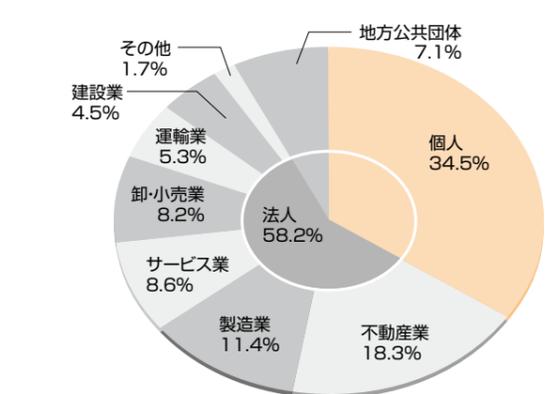


■ 貸出金業種別残高内訳

(単位:億円)

業種	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
製造業	420	416	406
卸・小売業	300	295	293
運輸業	222	211	188
サービス業	340	322	309
建設業	174	171	160
不動産業	643	666	651
その他	60	66	61
地方公共団体	193	235	252
個人	1,271	1,254	1,229
合計	3,628	3,639	3,553

■ 貸出金業種別残高構成比 (平成22年9月末)



■ 有価証券等

■ 安全性重視で運用 含み益は30億円に

お客様からお預かりした資金の一部は、安全性を重視し、比較的リスクの低い国内債券を中心とした有価証券および信金中央金庫（信用金庫の中央機関）への預け金で運用しています。



(注) 有価証券残高は、その他有価証券が時価、満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式は取得価額で計上することとなっています。

有価証券と預け金の合計額は、期中257億円増加し、9月末現在で3,249億円となりました。

また、有価証券の評価損益は、市場金利が大幅に低下したことで、保有している債券の価格が上昇したため、前期末比9億円増加し30億円の含み益となっています。

■ 有価証券の時価情報 (平成22年9月末)

(単位:百万円)

	取得価額 (A)	時価 (B)	評価損益 (B) - (A)
その他有価証券	176,833	179,966	3,132
株式	5,900	5,162	△ 737
債券	168,295	172,562	4,266
その他	2,637	2,240	△ 396
満期保有目的の債券	5,186	5,104	△ 82
子会社・関連会社株式	40	40	—
合計	182,061	185,111	3,050

■ 不良債権の状況

■ 不良債権比率は0.50ポイント上昇

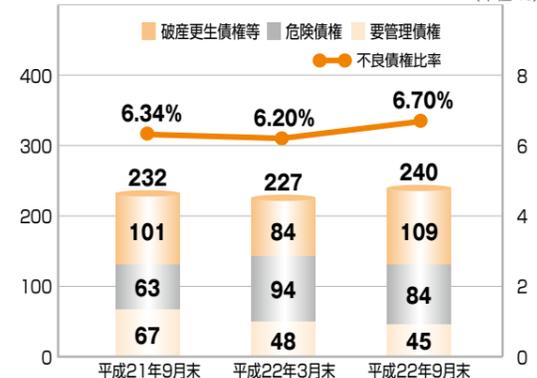
不良債権の削減に向けて、計画的な回収を行ったほか、お取引先に対する金融円滑化への対応を進めるとともに、経営改善への取組みによるランクアップ等を図りましたが、景気の持ち直しが緩やかな傾向にとどまったことから、不良債権（金融再生法ベース）の合計額は、期中12億円増加し、240億円となりました。

その結果、不良債権比率は期中0.50ポイント上昇し、6.70%となりました。なお、こうした不良債権のうち、81%は貸倒引当金や担保・保証等によって保全されており、残りの約19%にあたる45億円は、自己資本（382億円）により、十分にカバーされています。

■ 金融再生法開示債権 (単位：億円)

区分	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
破産更生債権等 (A)	101	84	109
危険債権 (B)	63	94	84
要管理債権 (C)	67	48	45
上記合計額 (D) = (A) + (B) + (C)	232	227	240
正常債権 (E)	3,431	3,445	3,346
合計額 (F) = (D) + (E)	3,663	3,673	3,586

■ 不良債権額（金融再生法に基づく開示額）・不良債権比率 (単位：億円) (単位：%)



■ 保全率・不良債権比率 (単位：億円)

区分	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
不良債権額 (A)	232	227	240
保全額 (B)	184	184	194
保全率 (B) ÷ (A)	79.41%	80.96%	81.02%
総与信 (C)	3,663	3,673	3,586
不良債権比率 (A) ÷ (C)	6.34%	6.20%	6.70%

(注) 総与信 = 正常債権 + 不良債権

■ 損益の状況

■ 経常収益は減収

景気回復力が弱まる中での急速な円高進行、また市場金利の低下の影響により、貸出金利息、有価証券利息配当金などが減少し、資金運用収益は前年同期比2億83百万円の減収となりましたが、預り資産の推進による役員取引等収益の増加や債券売却益等により、経常収益は前年同期比65百万円の減収にとどまり、70億83百万円となりました。

■ 経常利益は増益

費用面では、当期は下期において予測される担保評価下落額などを見積もったことから不良債権処理費用が増加したものの、金利の低下により預金積金利息が減少したことや、適格退職年金制度の移行に伴う費用の減少等により、経常費用は64億6百万円と、前年同期比1億26百万円減少しました。

この結果、経常利益は6億77百万円となり、前年同期比60百万円の増益となりました。

なお、本業の収益力を示すコア業務純益は、資金利益の減少や職員増による経費の増加等で、前年同期比31百万円の減益となりました。

■ 経常収益 (単位：百万円)

区分	平成21年9月期	平成22年3月期(通期)	平成22年9月期
経常収益	7,149	14,579	7,083

■ コア業務純益・経常利益 (単位：百万円)



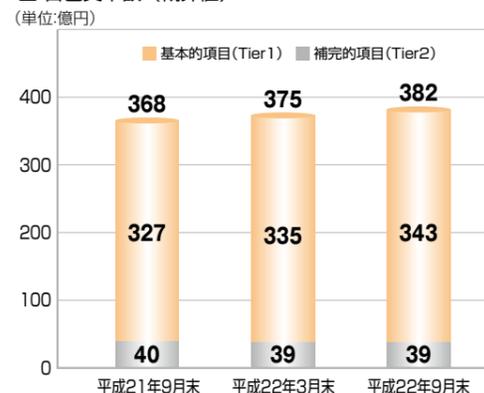
(注) コア業務純益とは、金融機関固有の収益指標である業務純益から国債等債券損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、信用金庫本来の事業活動のみの利益を示す指標です。

■ 自己資本比率（単体）の状況（概算値）

■ 自己資本額は382億円（概算値）に

自己資本額は、期中7億円増加し、382億円になりました。

■ 自己資本額（概算値） (単位：億円)

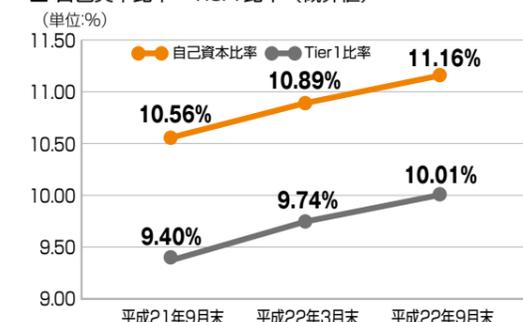


(注) 1. 信用金庫では正式な中間決算を行っていませんので、自己資本額は概算値となります。
2. Tier1とは、自己資本額のうち出資金や特別積立金等の基本的項目のことをいいます。

■ 自己資本比率は11.16%（概算値）に

自己資本比率は、期中0.27ポイント上昇し11.16%となりました（国内基準4%）。また、Tier1比率も期中0.27ポイント上昇し10.01%となりました。

■ 自己資本比率・Tier1比率（概算値） (単位：%)



(注) 自己資本比率算出にあたり、貸出金の信用リスク・アセットについては、当金庫の定めにより概算値にて算出しています。また、オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額は平成22年3月期の計数を使用しています。そのために自己資本比率は概算値となっています。

貸借対照表

科 目	平成21年9月末	平成22年9月末
《資産の部》		
現金	6,127	5,760
預 け 金	105,919	139,735
コ ー ル ロ ー ン	392	411
買 入 金 銭 債 権	400	200
金 銭 の 信 託	500	500
有 価 証 券	195,581	185,194
貸 出 金	362,814	355,385
外 国 為 替	40	393
そ の 他 資 産	4,684	4,729
有 形 固 定 資 産	10,181	10,086
無 形 固 定 資 産	342	340
繰 延 税 金 資 産	2,693	3,134
債 務 保 証 見 返	2,279	1,962
貸 倒 引 当 金	△ 10,420	△ 11,788
資 産 の 部 合 計	681,537	696,046
《負債の部》		
預 金 積 金	630,671	643,465
借 用 金	5,852	5,550
そ の 他 負 債	2,523	2,662
賞 与 引 当 金	431	432
退 職 給 付 引 当 金	995	1,106
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	194	226
睡眠預金払戻損失引当金	174	162
再評価に係る繰延税金負債	1,300	1,269
債 務 保 証	2,279	1,962
負 債 の 部 合 計	644,424	656,839
《純資産の部》		
出 資 金	2,406	2,465
利 益 剰 余 金	30,392	31,838
処 分 未 済 持 分	△ 1	△ 0
会 員 勘 定 合 計	32,796	34,303
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,496	2,152
土 地 再 評 価 差 額 金	2,819	2,750
評 価 換 算 差 額 等 合 計	4,316	4,903
純 資 産 の 部 合 計	37,113	39,206
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	681,537	696,046

損益計算書

科 目	平成21年9月期	平成22年9月期
経 常 収 益	7,149	7,083
資 金 運 用 収 益	6,310	6,027
(うち貸出金利息)	4,706	4,463
(うち預け金利息)	388	364
(うち有価証券利息配当金)	1,212	1,147
役 務 取 引 等 収 益	616	648
そ の 他 業 務 収 益	129	365
そ の 他 経 常 収 益	92	42
経 常 費 用	6,533	6,406
資 金 調 達 費 用	892	619
(うち預金積金利息)	845	570
役 務 取 引 等 費 用	393	399
そ の 他 業 務 費 用	16	13
経 常 費	4,299	4,352
そ の 他 経 常 費 用	931	1,020
経 常 利 益	616	677
特 別 利 益	213	328
特 別 損 失	3	6
税 引 前 当 期 純 利 益	826	999
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	202	327
法 人 税 等 調 整 額	△ 27	△ 44
当 期 純 利 益	652	715

(注) 信用金庫においては中間決算が義務づけられていないため、記載金額は、本決算に準じて算定していますが、一部の項目について簡素化して記載しています。

本紙に掲載している計数は、原則として単位未満を切り捨てるうえ表示しています。

- 4月** 「くれしん育英会」奨学生を10名採用〔2日〕
- 5月** 第9回くれしんトップセミナー開催〔21日〕
広島県とがん検診推進に関する協定を締結〔28日〕
- 6月** 海田支店新築オープン〔8日〕
第85期通常総代会開催〔11日〕
第8回地域活性化支援制度「グッドラック」助成対象先決定
(公益社団法人アクティブベースくれ)〔17日〕
- 7月** 石段の家“風”オープン(NPO法人くれ街復活ビジョン)〔25日〕
- 8月** 子ども手当受給者優遇サービス取扱開始〔2日〕
中学生の職場体験「キャリア・スタート・ウィーク」実施
〔23日～27日〕
ヤマトギャラリー零オープン(NPO法人くれ街復活ビジョン)
〔29日〕
- 9月** しんきんリフォームローン「快適我家」取扱開始〔1日〕
インターンシップ研修生受け入れ〔6日～10日〕
呉市とがん検診推進に関する協定を締結〔10日〕



海田支店新築オープン



石段の家オープン



ヤマトギャラリー零オープン

地域活動への取組み

呉みなと祭

4月29日、第53回呉みなと祭が開催され、今年もイメージキャラクター「それいけ!アンパンマン」の花車で、呉中央中学校吹奏楽部の生徒さんとパレードに参加しました。



第18回くれしん文化講演会

6月2日、評論家でコメンテーターとしてもお馴染みの大宅映子さんと、地元音戸町出身で日本ソフトテニス連盟日本代表女子監督の中本裕二さんをお迎えし、講演会を開催しました。



森永卓郎講演会

6月19日、「くれしんNEWリーダーズクラブ」との協賛で、多くのTV出演などでお馴染みの経済アナリスト・森永卓郎さんをお迎えし、講演会を開催しました。



第15回くれしんママさんバレーボール大会

7月17日・18日、くれしんママさんバレーボール大会を開催しました。大会には地域の部19チーム、クラブの部19チーム570名の選手が参加され、熱戦が繰り広げられました。



第16回くれしん少年サッカー大会

9月11日・12日、くれしん少年サッカー大会を開催しました。大会には呉市、竹原市、東広島市、江田島市、安芸郡坂町の25チーム、438名の選手が参加され、熱戦が繰り広げられました。



当金庫の概要

(平成22年9月30日現在)

■設立：大正14年9月
■店舗数：47店舗（うち3出張所）

■本店所在地：呉市本通2丁目2番15号
■店舗外ATMコーナー 41カ所 ■常勤従業員数：789名



呉信用金庫

TEL (0823) 24-1181 <http://www.kure-shinkin.jp/>

平成22年11月発行（本紙は再生紙を使用しています）